

多治見市の青少年育成だより

～ 未来を担う子どもたち 地域で守り育てよう ～

2024年
Vol.17

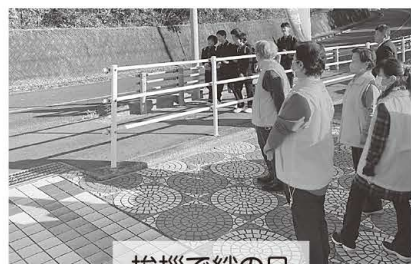
発行

多治見市青少年まちづくり市民会議
多治見市青少年育成推進員会議
多治見市教育委員会事務局教育推進課

「多治見市青少年まちづくり市民会議」は、地域のイベントなどを通じ、子どもたちが楽しく過ごすことができるよう、さまざまな体験の機会や子どもたちが自分の考えを発表する場を提供しています。この青少年まちづくり市民会議は、青少年健全育成を推進するために平成5年に組織されました。その後、各13小学校区に「校区青少年まちづくり市民会議」が設置され、子どもに関する機関や各種団体と連携し、地域ごとの特性や特色を生かした活動を行っています。

令和5年度の重点活動は、「挨拶で絆の日」運動と花いっぱい運動の2つでした。例年7月1日と11月1日に開催する「挨拶で絆の日」は、「挨拶によって絆を築くことができるまちをつくりたい」という子どもたちの意見から始まった挨拶活動です。また、「花いっぱい運動」は、花を種から育て、地域の方にその苗の「里親」になっていただくことで、地域の交流を促進し、きれいなまちをつくることを目的とした活動です。

この冊子は、青少年まちづくり市民会議の活動を紹介することで、より多くの皆さんに青少年まちづくり市民会議の活動をご理解いただき、子どもたちと行事に参加すること、子どもたちを守り育てることを地域で考えていただく機会になると考え、発行しています。



挨拶で絆の日

各校区青少年まちづくり市民会議の活動紹介

養正校区青少年まちづくり市民会議

花いっぱい運動 令和5年6月11日、12月2日

多治見中学かがやきたいの生徒さんが大活躍しました！



雨の中ですが
たくさんの人
に来ていた
きました

養正校区青年の主張大会

令和5年6月11日養正公民館

養正校区わたしの主張大会を開催し、中学生4名、小学生3名の方に出場していただきました



その中でも 多治見
中学3年生の森 瑠
衣さんが県大会まで
出場し、優秀賞でした

☆挨拶で絆の日（令和5年7月3日、11月1日）

養正PTAの皆様を中心とした多数の保護者参加の中で行いました。



臨時事業として令和5年9月2日に『みんなの学校』上映会を開催して、大人181名、小人44名の多くの方に参加していただきました



学校が変われば、地域が変わる。
そして、社会が変わっていく。

このとらけは、児童が必要な児童のためのものではありません。経験の長い先生やボランティアの先生が、子供たちの心を開き、それらの変化に促される。そのことが、育ちの環境にもつながります。地域にいても「自分とは違う人」が住む環境を一人ひとりの心の中にもうけてもらいます。

映画は、日々を暮らすかたがらに育っていく子供たちの姿の記録。ともに学び、成長や困難を乗り越える姿の記録。戸惑い、喜び、涙、そして、それすべてを包み込んでくれる。ありのままに映し出されています。

本町でも学校とは違うところ。そして、あるべき教育の姿とは？ 大型の学校には、そのヒントが隠れています。みなさんも、映画を通して「学校教育」について考えてください。

もちつき大会

令和6年1月28日養正公民館



天気もよくた
さんの子ども
たちにもちを
ついてもらい
ました

クイズ大会 令和6年1月28日 養正公民館



養正の「我ら企画隊」
の二回目の事業！
かなり盛り上が
りました。

精華校区青少年まちづくり市民会議

今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染法上の分類が5類に移行されたことで、運営する側も参加する側もお互いの顔を見て行事に取り組むことができました。「精華ぼらんていあキッズ」のメンバーもお手伝いがしやすくなり、参加した皆さんからの「頑張ってるね」の声が心に気持ちよく響いたと言ってくれました。

さて、こうした青少年の活動を報告する「青少年まちづくり市民大会」が2月24日にバロー文化ホールで開催されました。

精華校区は発表の機会が与えられることになり、年度当初の行事からキッズのメンバーが、今までの運営に関わることに他に、市民大会で発表する写真・ビデオの撮影に取り組みました。発表の持ち時間の15分の中に、キッズが年間行事にどう関わってきたかをわかりやすく説明するために、何回もスライドを修正しました。舞台上立つキッズも、受験やクラブ活動がある中、時間を調整してリハーサルに参加しました。本番では、練習の成果を十分に発揮し、精華校区の活動を大勢の観衆に披露してくれました。発表の最後にキッズが感想として述べた「お手伝いをした中で、心に残る言葉、達成感など色々感じるがありました。忙しい時間の調整をしながら参加できてよかったです。この輪が広がりますように・・・」の言葉、多くの観衆に響いたことだと思います。



共栄校区青少年まちづくり市民会議

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の分類が2類から5類に引き下げられたことを受け、当初計画した6つの事業をすべて実施することができました。事業をお手伝いいただいた各地区青少年委員さんや学生ボランティアの皆さま、誠にありがとうございました。

「花いっぱい運動」では、共栄小学校3年生の皆さんにマリーゴールドの育苗作業をお願いし、7月20日に育成いただいた苗（プランター80鉢）の受け渡し式を行いました。また、その苗を共栄区民の皆さまに里親（50先）としてご協力をいただきました。郵便局、金融機関、飲食店、事業所の軒先など小学生の通学路に配置をしました。

今後も、学校、児童館、ボランティア団体などと連携し、地域の行事を通して子どもたちが楽しく過ごすことができるよう、さまざまな体験や子どもたちが自分の思いなどを発表する機会を提供していきます。



灯籠展示風景



挨拶で絆の日



ボランティア



花いっぱい運動

昭和校区青少年まちづくり市民会議

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が第5類へ移行されたことから、活動の幅を徐々に取り戻した1年でした。

6月3日に、「昭和校区わたしの主張大会」をまなびパーク7階ホールにて開催しました。小中学校12名の子どもたちが素晴らしい主張を熱弁する姿に感動しました。子どもボランティアスタッフによる司会進行、推進委員・継続委員による会場設営、運営により無事開催できました。

1月28日には、「ハッピースポーツデイ2024」を昭和小学校体育館及びグラウンドにて開催しました。

令和4年も同様の軽スポーツイベントを開催しましたが、令和5年度はこままわし、けん玉、たこあげなどの昔遊びも加えて、子どもも大人も一緒に楽しむことができました。

その他の今年度の主だった行事として、次のものがあります。

- 4月15日 昭和校区青少年まちづくり市民会議総会
- 7月・11月 挨拶で絆の日
- 11月11日 花いっぱい運動
- 2月 小中学校通学路における交通規制看板の設置

各イベントに関わった方たちが楽しく開催できたことに達成感を感じております。来年度に向け、これまでどおり子どもたちの健全な育成を手助けできる活動を継続していきます。



わたしの主張大会



ハッピースポーツデイ2024



挨拶で絆の日



花いっぱい運動

小泉校区青少年まちづくり市民会議

小泉校区では、毎年さつま芋の栽培を行っています。令和5年度は、小泉小学校の学校運営協議会と協力して、事業を実施しました。具体的には、小学校2年生の生活科の授業の一環として、2年生の児童がさつま芋の苗植えと芋掘りを体験しました。

5月23日、小泉小学校2年生（136名）が青少年まちづくり市民会議の用意した畑でさつま芋の苗植えをしました。市民会議のスタッフから、「葉っぱは高社山、根は小学校方面に向けて植えましょう」などと苗の植え方が説明され、1人4本の苗を順に植えました。

10月18日には、さつま芋の収穫体験をしました。天候にも恵まれ、大きく育ったさつま芋をみんなで掘って収穫しました。

さつま芋は学校に持ち帰り、休んだ子どもたちにも行き渡るように分配し、自宅に持ち帰りました。参加した子どもたちからは、「楽しかった」「面白かった」との感想が聞かれました。きっと帰宅してから家族に芋を見せながら楽しく話をしてくれたことと期待しています。

こうした体験は、普段自分たちが食べている食材を栽培し収穫するという、とてもよい経験となったのではないのでしょうか。



池田校区青少年まちづくり市民会議

今年度、校区の委員会では、新型コロナウイルスによる感染が完全に終息する事を祈念し、活動行事計画を立てました。

6月10日に「わたしの主張大会」で校区代表を決めました。多治見市の大会まで6日間と時間がない中ではありましたが、多治見市大会当日はすばらしい発表でした。

7月3日と11月1日には朝早くから「挨拶で絆の日」の挨拶運動を行い、池田小学校地区役員の皆さんと一緒に小学校正門で子どもたちの元気な姿を見ることができました。

11月11日には池田小学校PTA親子ふれあい事業として、星空の映画祭「ザ・スーパーマリオブラザーズ・ムービー」の上映が行われました。強風対策で残念ながら体育館での鑑賞となりましたが、子どもたちの思い出に残ることでしょう。

年末恒例行事となった「和風作り」にも多くの親子の参加があり、自分だけの「ひとつしかない和風」を作り上げ、喜んで帰られました。冬休みには和風を空に揚げてくれたかな。

池田校区青少年まちづくり市民会議の活動は、心配していた新型コロナウイルス感染もなく、全てを事業計画どおり終えることができました。委員の皆様のご尽力はもとより、校区の皆様のご参加とご協力に感謝します。



わたしの主張大会



わたしの主張大会アトラクション



親子ふれあい事業



和風作り



市之倉校区青少年まちづくり市民会議

令和5年度、市之倉校区では、小学校の児童を対象に「親子交流スポーツ大会」の参加者を募集しました。幼児の参加もOKにしたところ50名超の参加者がありました。

当日、会場となったボウリング場では、クラスの友だち同士で勝負しているレーンの隣でパパ友vsママ友の熱い闘いが繰り広げられていたほか、家族総出でボウリングを楽しんでいたたり、「初めまして!」ですっかり仲良くなっている親子もいたり、それぞれがボウリングを通じた交流を楽しんでいました。

当日は中学生の子どもスタッフも参加しましたが、中には生まれて初めてボウリング場に来たという子どももいて、同級生に教えてもらいながら楽しむ姿も見られました。

年の始まりには、市之倉校区で長年続いている伝統行事のひとつ「どんと焼き」を行いました。当日は暖かく天気に恵まれ、たくさんの人で賑わいました。

まちづくり市民会議としては、菓子袋を150個用意したほか、ジャンボカルタ探しを行いました。これは、読み句の札を子ども渡し、それに合う絵札を持って来てもらうものです。子どもたちは、たくさんある絵札を順番に確認しながらグラウンドを歩いていました。

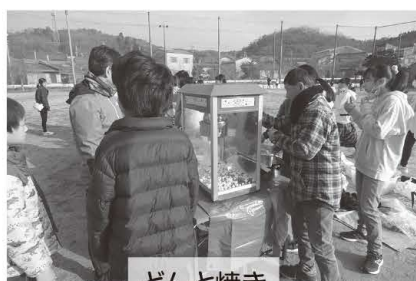
また、子どもスタッフがポップコーンと綿菓子を作り来場者に振る舞ったところ、子どもたちを中心に大変好評で、行列ができるほどでした。



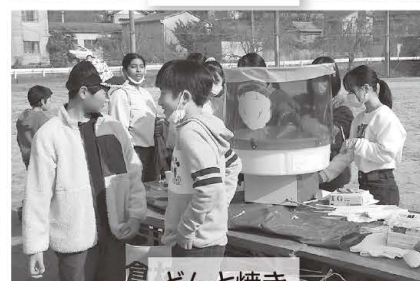
親子交流スポーツ大会



どんと焼き



どんと焼き



どんと焼き

滝呂校区青少年まちづくり市民会議

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症も5類に移行し、計画したすべての行事を無事開催することができました。

「わたしの主張大会」は、初めて多治見中学校で開催しました。小学生7名、中学生6名と、過去最多の発表者がみな思い思いの力強い発表を行っており、よかったと思います。子どもたちの主張は、文集にして小中学校卒業生に配布させていただきました。

魚つかみ大会も天候に恵まれ、無事開催できました。令和4年度より参加人数が減りましたが、他校区からの参加もあり、子どもたちにとっては保護者と一緒に楽しめる楽しい行事のひとつです。

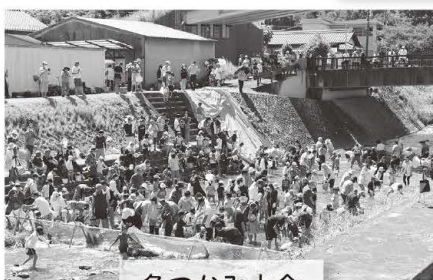
スポレク祭は、過去の開催同様、参加者にカレーを提供させていただきました。いろいろな軽スポーツの用具を用意しての開催でしたが、やや参加人数が伸びず、残念な結果でした。未就学児を連れての参加もありましたが、未就学児が楽しめる用具があまりなく、そこが反省点でもありました。

すべての行事を中学生ボランティアがサポートしてくれ、心強かったです。来年度は企画等の段階から中学生ボランティアに関わってもらい、視点を変えて開催していきたいと思います。

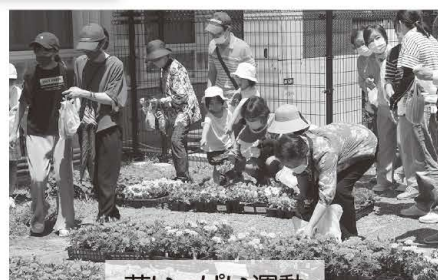
最後に、今年度当校区の行事に参加いただいた皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。



わたしの主張大会



魚つかみ大会



花いっぱい運動

南姫校区青少年まちづくり市民会議

「サマーわんぱくまつり」は、子どもたちにもものづくりの楽しさを体験してもらうイベントとして、毎年夏休みに計画しています。

令和5年度は、南姫公民館で8月20日の午後に実施しました。令和4年度は新型コロナウイルスの感染拡大のため開催直前に中止しましたが、令和5年度は無事に行うことができました。

当日は南姫公民館の全フロアを活用し、7か所のコーナーを設けてものづくり体験ができるようにしました。参加者は約200名にもなり、うち子どもの参加者は73名と、大変盛況でした。

それぞれのコーナーは、南姫児童センター、南姫公民館、ボーイスカウト、段ボール工作の講師、南姫校区青少年まちづくり市民会議のメンバーで担当し、子どもたちに熱心に指導していました。

冷房の効いた室内で、子どもたちは夢中になってものづくりに取り組んでいました。できた物は持って帰り、家族で品評会ができたのではないのでしょうか。

子どもたちにとっては、夏休みの思い出として貴重な体験になったと思いますので、来年度も内容をブラッシュアップして実施できたらと考えています。

また、当日は、ケーブルテレビ（おりベネットワーク）による取材もあり、子どもたちが楽しみながらものづくりに取り組む様子が後日放映されました。



根本校区青少年まちづくり市民会議

根本校区では、新型コロナウイルスによる制限が緩和されたことに伴い、各種団体・機関と連携を図り、予定した地域行事等をすべて終えることができました。

令和5年度も、地域・学校・家庭と連携して、「子どもは地域の宝」、「地域で守り育てよう」を合言葉に活動に取り組みました。「みんなで芋苗植え」、「わたしの主張校区大会」などには、多くの地域の方々の参加があり、根本小学校の「ねもとボランティア☆キッズ」、中高生もボランティアとして積極的に参加してくれました。また、根本川の清掃や夏祭り遊び広場には、ボランティア活動の拠点である根本交流センターに校区外からもボランティア活動の申込みが寄せられるなど、広報「ねもとっこ」や行事のチラシによる周知が功を奏したと感じられることもありました。今後も、各家庭や小中学校、自治組織を通じ、青少年育成活動や各種行事に関する周知に努めていきます。

青少年委員、各実行委員をはじめとする住民の方々の青少年育成活動へのご理解、ご協力のもと、「わたしの主張校区大会」などのほかにも「魚つかみ大会」、「餅つき大会」、「歩こう遊ぼうクイズ王決定大会」などを行い、行事の受付などで活躍した根本小学校の「ねもとボランティア☆キッズ」は、令和5年度教育長賞詞を授与されました。



北栄校区青少年まちづくり市民会議

魚つかみ取り大会は他の校区でも行われていますが、今回は北栄校区での様子を紹介します。

新型コロナウイルス感染予防のため3年間開催できませんでしたが、令和5年度に再開し、27回目を迎えました。

場所は、北栄小学校のプールです。プールサイドがいっぱいになると危険があるため、幼児（4歳から年長）、1・2年生、3・4年、5・6年生、中学生とそれぞれの部門に分けて行い、部門ごとにプールの水量を徐々に増やして行きます。

魚つかみ取り大会を滞りなく進めるためには、中学生ボランティアの活躍が欠かせません。中学生のボランティアは、それぞれ受付、整列、進行、監視、魚の運搬係に分かれて活動します。

まず、受付係は各部門別に受付をし、受付人数によって魚の量を決めます。整列係は、次の順番の方を集めます。進行係は、つかみ取りを終了した方と、次につかみ取りをする方の入れ替えをします。監視係は、プールサイドでスタートの合図と終了の合図をします。そして、1番重要なのは運搬係です。魚が弱らないように速やかに運搬しなければいけないため、これは体力的にとっても大変な作業です。これらすべての運営は、中学生のボランティアによって行われます。

なお、魚（マス）が1匹も取れなかった子には、帰りに魚を渡し、みんなが楽しめるようにしています。

これからも、子どもたちの活躍を地域の皆さんとともに支えています。



脇之島校区青少年まちづくり市民会議

今年度の脇之島校区青少年まちづくり市民会議は、脇之島小学校児童23名、南ヶ丘中学校生徒16名の子どもスタッフと一緒に活動しました。

全員参加の「わたしの主張大会」「花いっぱい運動」では、自分たちの役割を一生懸命にこなす姿や、花を育成してくださる13か所の里親さんと積極的に挨拶、会話する姿が見られ、地域の方々とコミュニケーションを図る良い機会になっています。

ホワイトタウン夏祭りでは子ども神輿で盛り上げ、ストラックアウトの模擬店を出店し、受付でのお金の受け渡しや景品渡し、お客さんとのやり取りを経験して1回10円のストラックアウトは大盛況でした。また、児童センターや公民館にご協力いただき、子どもたちの活躍の場を広げることができました。特に、児童センターまつりではブラバンキーホルダー作り、幼児プールやハロウィンのお化け屋敷での小さい子たちとのふれあい、公民館まつりでは受付、パンやお弁当の販売、カフェ担当や司会など貴重な経験をしました。公民館を楽しく明るく集える場にしようという狙いで行ったクリスマス装飾とハンドベル活動は、公民館を利用する地域の方々の目を楽しませ、クリスマスの雰囲気味わっていただけました。

来年度も楽しく活気ある活動を目指す脇之島校区の子どもスタッフです。



夏祭り



ブラバンキーホルダー作り



ハンドベル活動&クリスマス装飾



笠原校区青少年まちづくり市民会議

笠原校区では、今年も恒例となりました「花いっぱい運動」が行われました。笠原小学校の敷地をお借りして、春と秋の二回、種まきから苗の移し替えを、小学生、中学生ボランティアの子どもたちと一緒にに行いました。

この日も、土おこしから準備し、小さな種を手のひらにのせ、春風に飛ばされないよう、そっと大切に種まきをしました。長い期間きれいな花を楽しめるようにマリーゴールドや日日草にしました。育った花の苗は、プランターに移し替え、お年寄りの方や町内の施設などへ『子ども達の育てた花苗の里親になっていただけると嬉しく思います。たっぷりのお水の愛情を注いでいただけませんか。』とお手紙を添えてお渡ししました。

苗をお渡しした施設の玄関先には花が咲いています。これは、子どもたちの、少しでも人のためにしたこと【あしあと】でもあります。思いやり

ある小さな活動が地域に広まっています。この活動を通じ、子どもたちは、人の温かさや人に喜ばれる嬉しさを感じ、花を育てることにより命の大切さも学んでいきます。私たち青少年まちづくり市民会議は、地域の方々と交流を深め、子どもたちと行事へ参加すること、子どもたちを守り育てていくことに、これからも努めていきたいと思っています。



わたしの主張2023 多治見市大会

令和5年6月17日に、多治見市バロー文化ホールにおいて、「わたしの主張2023 多治見市大会」を開催しました。

市内13小学校区の「わたしの主張 校区大会」において最優秀賞を受賞した小学生、中学生各1名、合計26名が多治見市大会に出場し、社会や世界に向けての意見、未来への希望や提案、家庭や学校生活、友だちとの関わりなどを通じて感じたことなどをテーマに、熱のこもった主張を繰り広げました。審査の結果、多治見中学校の森さんが、垂井町で開催された「第45回少年の主張岐阜県大会」への出場を決めています。

また、当日は、中学生のボランティアが運営を補助してくれたほか、アトラクションとして多治見中学校吹奏楽クラブが演奏を披露してくれるなど、多くの子どもたちが関わってくれました。

来場者からは、子どもたちの活躍に対し、「さまざまな社会問題に対する若者の素直な思いが聞けてよかった」、「ボランティアの中学生がテキパキと業務をこなしていて感心した」などの感想とともに、今後の継続を望む声が多く寄せられています。



最優秀賞	氏 名	学校名	学年
小学生の部	中村 岳	根本小学校	6年
中学生の部	森 瑠衣	多治見中学校	3年

優秀賞	氏 名	学校名	学年
小学生の部	渋谷 紬奈	市之倉小学校	6年
	宮嶋 望愛	北栄小学校	6年
中学生の部	工藤 千晴	笠原中学校	3年
	磯野あゆみ	多治見中学校	3年

多治見市青少年まちづくり市民大会

令和6年2月24日に、多治見市バロー文化ホールにおいて、「多治見市青少年まちづくり市民大会」を開催しました。

市民大会では、市内13小学校区にある校区まちづくり市民会議が順番で活動報告を行うこととしており、令和5年度は、笠原、養正、精華の3校区が活動内容を報告しました。各校区の活動報告は、子どもたちが中心となって準備から行っています。何度も修正やりハーサルを重ね、当日は各校区の特色ある活動を堂々と報告してくれました。また、会場入口には全校区の活動を紹介するパネル展示も行い、各校区の活動を広くPRしました。

当日は、活動報告を行ってくれた子どもたちの他にも、中学生ボランティア、アトラクションとして演奏を披露してくれた平和中学校吹奏楽クラブの生徒など、多く子どもたちが関わってくれました。



令和5年度青少年育成功労者表彰

令和5年8月1日に、多治見市バロー文化ホールにおいて、青少年育成功労者表彰式を開催しました。

この表彰は、青少年健全育成や住みよいまちづくり活動に特に顕著な功績のあった個人、団体を多治見市青少年まちづくり市民会議会長（多治見市長）が表彰するものです。令和5年度は、16名が受賞されました。

なお、表彰式は、令和5年度から、市制記念日である8月1日に多治見市制記念表彰式と合同で開催することとしています。



令和5年度受賞者一覧

昭和校区……坂崎 育子、服部 克彦、村瀬 登志夫
 小泉校区……高原 伸一、松田 純、水野 紀代
 池田校区……齋藤 満子
 市之倉校区…小境 一男
 南姫校区……加藤 泰広、田中 美紀
 根本校区……郡司 洋子、平岡 博志、若尾 敏
 ボーイスカウト…奥田 千秋、林 孝明
 子ども会連合会…釜倉 智秀

多治見市青少年まちづくり市民会議事務局

〒507-8787 多治見市音羽町1丁目233番地
 多治見市教育委員会事務局 教育推進課内
 TEL: 0572-23-5904 (課直通) FAX: 0572-23-5862
 メール: kyoiku@city.tajimi.lg.jp

「青少年育成だより」は12,000部発行し、1部あたり15.1円で印刷しています



植物油インキを使用しています。
 ※この印刷物を廃棄する時は、燃やさないで資源回収などに出しましょう。